



## 【中核地域生活支援センター大会 in 2021】

本年度の中核地域生活支援センター大会のテーマは「つながり続けることから見えてきたこと」です。昨年度に引き続きオンデマンド配信での開催となった為、10月6日（水）にオンデマンド配信用撮影会を行いました。

大会撮影会に参加して、相談者（利用者）とつながり続けることとはどういうことなのか、つながり続けることの大切さとは何なのか・・・などなど、私にとっては、改めて自身の支援を振り返りながら考えさせられる貴重な機会となりました。配信が可能になりましたら、ぜひご覧いただき、今一度皆様自身が行っている支援を見直す機会となっていたければ幸いです。

〔センター長 吉井 稔〕

☆配信予定が決まりましたら、改めてお知らせさせていただきます ☆

### 【大会プログラム】

#### <報 告>

中核地域生活支援センター活動報告

#### <当事者インタビュー>

1. 中核地域生活支援センター夷隅ひなた
2. 中核地域生活支援センターがじゅまる

#### <活動紹介>

1. ひぐらしのいえ 安西 順子 氏
2. 児童養護施設 子山ホーム 池口 豊 氏

#### <クロストーク「つながり続けることから見えてきたこと」>

ひぐらしのいえ：安西 順子 氏      児童養護施設子山ホーム：池口 豊 氏  
一橋大学社会学部：猪飼 周平 氏      日本女子大学：大部 令絵 氏  
中核地域生活支援センター連絡協議会 澁澤 茂 氏



【クロストークの1コマ  
大会テーマの「つながり続けることから見えてきたこと」】

### 新任のご挨拶

【近藤幸江】と申します。ご縁があり9月からさんネットでお世話になることになりました。別の仕事、スクールソーシャルワーカーとして3年目になりますが、さんネットのお仕事は範囲が広いのでまだまだわからないことだらけです。ひとつひとつ丁寧に誠意を持って関わっていきたいと思います。プライベートでの趣味はジャズヴォーカルです。よろしく願いいたします。

【福田ゆず子】と申します。現在は主にグループホーム「ぼんぼら」の休日の活動に携わっており、ホームの皆様と和やかなお休みのひとときを楽しんでいます。障害者福祉の現場は初めてですが、今後ともよろしくお





## 山武市及び大網白里市における「ひきこもり支援事業」のご案内

さんネットでは、山武市及び大網白里市の「ひきこもり支援事業」を関係機関の皆様と共に実施させていただき、3年目となりました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止等の対策を講じ、非接触型（ZOOM 等を活用したオンライン）等を実施しております。今年度も残りわずかとなりましたが、多くの方に周知及びご参加いただければと思います。



【大網白里市 家族のつどい】



【山武市 心のいずみ】



【山武市 家族のつどい】



## オンライン相談会の開催について

今年度、新型コロナウイルス感染対策として非接触型の相談会を実施しております。是非、相談支援の一つとしてご活用ください。また ZOOM 使用にご不安な方はサポートいたしますので、当センターまでご連絡ください。【オンライン相談会】



令和3年度 赤い羽根 新型コロナウイルス感染下の福祉活動応援全国シャンペーン  
いのちをつなぐ支援活動を応援しよう～支える人を支えよう～のご案内

○オンライン個別相談会 千葉会場及び山武会場及びオンラインにて実施

○心に寄り添うサポーター養成講座 オンデマンド配信



【サポーター養成講座】

## メンタルサポート研修

コロナ禍で奮闘し続ける福祉・介護・医療業界の専門職の方々へ、リスペクトの気持ちを込めてメンタルサポート研修を開催しました。参加(視聴)希望の方は、ご連絡頂ければご視聴いただけるようにいたしますので、お気軽にお申込みください。

### 1. 『管理職・中間管理職編』

①[インタビュー形式講演会]

②[講演 管理職等自身のメンタルヘルス]

### 2. 『新人職員・現場職員編』

①[講演]ココロとカラダと生活編

②[実技]ココロとカラダのメンテナンス編

申込☒アドレス：info@npo-link.jp



【管理職・中間管理職編】



【新人職員・現場職員編】



※QRコードの他にも  
【特定非営利活動法人リンク】HP  
最新情報でもご覧いただけます。

発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電話 0475-77-7531

FAX 0475-77-7538

E-mail sun.net@npo-link.jp

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

## ● 山武圏域連絡調整会議 ●

令和3年度山武圏域連絡調整会議が7月8日、山武健康福祉センターでオンライン参加者も交え開催されました。新型コロナウイルス感染拡大が様々な現場に影響を及ぼしている報告が多々上がりました。講演「長引く新型コロナウイルスの影響における弊害と重層的支援の関わり」を筆頭に、中小企業の現状、生活への影響と生活困窮について、不登校・ひきこもりの実情と支援の実際を伺いました。いずれの場面でも対面が叶いづらい中で孤立させない・連携を取り続けることの重要さが伝わりました。(宇井)

## ● 児童部会 ●

【教育と福祉がつながる座談会のお知らせ】

2021年12月23日(木) 14時～16時 山武健康福祉センター及びZOOM  
テーマ：過去・現在・未来を見つめた切れ目のない支援

- ①講演：キャンパスソーシャルワーカーから見える若者の現状と課題
- ②講師：秦野隆治さん(社会福祉士・精神保健福祉士)

※詳細は、追って関係者の皆様にお通知いたします。

【子育てミニ集会の報告】

2021年10月25(月) 18時30分～20時ゲストスピーカーに外房地区少年センター及び山武警察署生活安全課の方をお招きし、「子どもを犯罪から守る」をテーマに近年の少年犯罪の傾向等のお話をいただきました。スクールソーシャルワーカーや放課後等デイサービス管理者および地域の子ども支援の関係者等にご参加いただき、意見交換等を行いました。(赤堀)



## ● 高齢者部会 ●

今年度の活動として、コロナ禍における会議・研修方式としてスタンダードになった「オンライン開催」。この方式を山武圏域の全サービス事業所が行えるよう、オンラインで接続状況のアンケート調査及び接続サポーターの育成及び出張接続サポートを実施しました。現時点では接続が難しい事業所は1か所でしたが、潜在的にはもっとたくさんの事業所があると思われます。出張接続サポートを行っていますので、ご希望の事業所は当センターまでご連絡ください。喜んでサポートさせていただきます。

今後の予定として、下記の活動を予定しています。

1. 高齢者部会・研修会 2021年11月16日(火) PM2時～4時
2. 第1回医薬と福祉がつながる座談会 2021年10月29日(金) PM1時半～3時半
3. 第2回医薬と福祉がつながる座談会 2022年1～2月 夜間予定



【高齢者部会  
研修会】

## ● 包括支援部会 ●

今後の社会の方向性として、共生社会の推進、重層的・包括的支援体制の整備が進められています。そこで、山武圏域では新たに包括支援部会を創設し、多分野多職種連携の在り方や具体的な連携実践を通じて、行政区画・分野・職種・官民・民の連携基盤強化を図っていきます。2021年10月19日に部会を開催、山武警察署の皆川様から、虐待・DVび家庭内トラブルにおける現状と対応についてお話をいただき、意見交換を行いました。今後の予定として、下記の活動を予定しています。

1. 権利擁護を考える座談会 2021年11月25日(金) AM10時～12時
2. 暮らしの法律相談会 2021年12月6日(月) PM1時～5時
3. 困難事例検討会 2022年1月18日(火) PM予定



【権利擁護を考える座談会】



## 「2021 年度第 1 回自立支援協議会研修会」が行われました！

5 月 9 日。開会は、山武圏域自立支援協議会寺田会長から「このようなコロナ禍の中で、様々な形での研修の開催方法を模索した結果、このような形で開催できたことはとても素晴らしいことだ」とご挨拶をいただき、通常参加・オンライン参加併用の研修会が行われました。講演は、「精神障害と向き合う」～支援の入り口を大切に。初期対応の関わりと支援の見立てを意識して～というテーマで、いなしきハートフル



【寺田会長】

センター横山センター長をお迎えして、①精神症状に対する対応について②行政及び相談支援等の窓口対応（初期対応）③インテークのポイントと初期支援のテクニックについて事例を交えながら話をいただきました。その際にポイントとなることは、事業所（行政窓口）としての「相談のルールをあらかじめ決めておくこと、ルール作りの大切さ」ということが大変印象に残りました。

今後の山武圏域で相談の中心を担う相談支援専門員や行政の窓口の方がこの研修を通じて、支援者が相談者との対応のスキルを学び、更なるスキルアップの向上が目指せることを期待し、研修を修了されました。とても分かりやすく、聞いている方も「なるほど！」と支援のヒントが得られる研修となりました。（小川）



【横山センター長】

## I'm POSSIBLE（アィムポッシブル）アワード開催国特別賞 受賞報告

令和3年9月5日（日）東京 2020 パラリンピック閉会式にて、本校が「I'm POSSIBLE アワード開催国特別賞」を受賞しました。

本校は、平成30年に県教育委員会からの指定を機に、児童生徒主体の組織「オリ・パラ」推進隊（以下、推進隊）を結成しました。推進隊による地域の小・中学校へボッチャの出前授業や、毎年8月に地域の方を対象としたパラスポーツ体験会を本校が開催し、推進隊が準備や運営に取り組み、パラスポーツを通じた障害者理解の促進に努めてきました。これらの取組が国際パラリンピック委員会から評価を受け、受賞しました。

今回の賞は、関係する全ての方々の御理解、御協力があったのだと思います。

この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

（千葉県立東金特別支援学校 教諭 古川文彦）



受賞時の国立競技場の様子



日本パラスポーツ協会  
HPで紹介されています

